

京都市三山森林防災ガイドライン（仮称）の策定に係る基礎調査業務委託に関する公募型プロポーザルの実施についての質問及び回答

質問と回答	
1	Q 提案書作成枚数について 提案項目ごとにA4サイズで2ページ以内（両面刷り）とは、業務内容ア～エについて各2枚計8枚ということでしょうか。
	A 両面で最大4枚、計8ページまでとなります。
2	Q エ その他項目について 仕様書に調査内容の記載がないその他調査については、追加予算が発生するという判断でしょうか。例えば、本事業を検討する上で、図1の範囲を超えて調査が必要と生じた場合は、追加予算が発生するのか。
	A その他調査については、追加予算はありません。予算内での提案事項となります。調査範囲の超過に関しても同様です。
3	Q （別表）担当技術者の人数について 弊社の予定担当技術者の一覧表（人数）を添付する必要があるのか。また、担当技術者について必要な要件、管理技術者、照査技術者の資格要件は必要ないでしょうか。
	A 一覧表ではなく、配置技術者調書に全ての技術者を記入してください。実施体制を審査するため必要です。 また、資格要件は必要ありません。
4	Q 見積の積算基準について 積算基準の技術単価は各社の技師単価基準に応じて積算するのか、国土交通省（技術費、一般管理費）基準に合わせるなど決まりがあるのか。
	A 各社独自の単価・積算基準で構いません。
5	Q 仕様書の目的と2-(1)調査及びとりまとめ、【参考】 目的は「防災編作成のための市街地境界部における森林における各種調査」となっています。一方で、【参考】に記された業務内容では、災害の分類、市街地林縁部の危険度評価、防災対策の検討とあります。かつ「検討」とされていますが、手法、対策を作成するレベルとなっています。したがって、有識者からの指導を受けながら、防災対策を検討するという認識をしておりますが、それでよろしいでしょうか。
	A 今回の業務は、【参考】の業務を将来行うための、事前の調査業務であり、【参考】の内容は業務対象外です。

6	<p>Q 仕様書 2-(3) 報告書の作成</p> <p>① 報告書 2 部につきまして。製本様式はクルミ製本ではなく、リングファイルなどでよろしいでしょうか。</p> <p>② 提出するデジタルデータについて、使用ソフトに制限はありますか。また、媒体はDVDやBDでよろしいですか。</p>
	<p>A ① リングファイルなどで構いません。</p> <p>② 使用ソフトは Microsoft-Word, Microsoft-Excel, Adobe-Illustrator, 媒体は DVD, CD としてください。BD は不可。その他使用ソフトについては、「京都市建設局電子納品実施要領（業務編）（平成 26 年 4 月）に準拠して作成したデータを提出してください。</p>
7	<p>Q シカ実態調査</p> <p>シカ被害については、現状で市がどこまで情報収集・整理されているのでしょうか。（例えば、目撃情報ならポイントとして整理されているのか、捕獲情報であれば出猟カレンダーの整理やメッシュでの整理はされているのでしょうか。）</p>
	<p>A 当課で情報収集・整理している資料はありません。</p>
8	<p>Q 【参考】（5）について</p> <p>有識者ヒアリングの対象は何名、何回を想定していますでしょうか。また、有識者は決まっていますか。</p>
	<p>A 【参考】は将来の別業務です。有識者ヒアリングの対象、回数は未定です。</p>
9	<p>Q 現況把握に係る事項</p> <p>業務で借用可能な航空写真（京都市域・同一画角）はありますか。また、最新撮影日はいつでしょうか。</p>
	<p>A 当課で提供予定のものはありません。</p>
10	<p>Q 成果物に入れる図について</p> <p>既往ガイドライン作成時に、図面はどのような様式で整理されていますか（GIS, イラストレーター, CAD 等）。また、今回想定されている様式はありますか。</p>
	<p>A 既往ガイドライン時の図面は、デジタル化されておりません。</p> <p>今回の図面は、Adobe-Illustrator 形式での作成を想定しています。</p>